



MEMBER'S MANUAL

330-A Lions Clubs International



G L T 指導力育成・CQI 委員会

「メンバーズ・マニュアル」目次

はじめに	1
1. ライオンズメンバーであること	2
2. ライオンズクラブはこうしてできた	2
① 世界最初のクラブができたとき(国際協会創立)	2
② 日本最初のライオンズクラブの誕生	2
3. ライオンズの組織—会則地域、複合地域、330-A、リジョン、 ゾーンとは	3
① 世界に8つの会則地域	3
② 8つの複合地区	3
③ 330-Aのリジョン	4
④ ゾーン	5
4. ライオンズクラブへの誘い—資格等	5
① メンバー	5
② クラブ	5
③ クラブ支部	5
5. メンバーの資格と義務	6
① 定期的な例会出席	6
② 速やかな会費納入	6
③ クラブ活動への参加とクラブ役員	6
④ 地域社会に対してクラブの良い印象を与えるような言動	7
6. クラブの組織	7
① クラブ役員	8
② GAT(グローバル・アクション・チーム)について	8
③ クラブ委員会	8
④ クラブ理事会	9
⑤ クラブ例会	9
7. 会則というルール	10

8. 会議はスムーズに	ロバート議事規則	10
①	ロバート議事規則に決められている会議の原則—民主主義の原則の実現	10
②	上記の規則を守るために大事なこと	10
9. 間違いやすいクラブ運営や処理をしていないだろうか?		
—	会員維持の対策	11
①	友を失う行為	11
②	ときにメンバーの退会を恐れないことも大事	11
③	自クラブ優先	12
④	奉仕団体と慈善団体とは違う	12
⑤	チャリティ行事	12
⑥	資金集めは支援先を決めてから	12
10. Web 会議のすすめ		13
①	Web 会議の活用をお薦めします	13
②	Zoom オンライン参加方法	13
11. 用語解説		15

はじめに

私たちは、ライオンズクラブ国際協会のメンバーです。メンバーになられた皆様は、日ごろから様々なクラブの活動に参加し貢献していただき、本当にありがとうございます。心からお礼申し上げます。

皆様の日々の活動の中で目に触れ、耳にされる用語や仕組みにはライオンズクラブ特有のものがあり、その場ですぐには分かりづらく戸惑いや不便を感じられたこともあるのではないのでしょうか？

そのようなちょっとした疑問にお答えできるように、できるだけ容易に理解していただくことを考えながらこのメンバーズ・マニュアルを作成いたしました。そのため、十分に意を尽くせないところがあるかもしれません。詳細は、最新版の「ライオンズ必携」をご参照ください。

このマニュアルが皆様のライオンズ活動の一助となり、ライオンズライフをより豊かなものにしていく手引きになれば幸いです。

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
2020~2021 年度 GLT 指導力育成・CQI 委員会

1997年6月 初版 1996~1997年度330-A地区 指導力育成委員会 作成
2007年7月 第2版2006~2007年度330-A地区 指導力育成委員会 校正
2016年1月 第3版2015~2016年度330-A地区 指導力育成委員会 校正
2020年10月 第4版2020~2021年度330-A地区 GLT 指導力育成・CQI 委員会
改訂

1. ライオンズメンバーであること

ライオンズのメンバーである私たちは「思いやり」と「感謝」の心をもって、自らが模範となり、世界を良くしていきたいものです。同じ思いを持った仲間が力を合わせ、一緒に汗を流し、地域社会に貢献できる奉仕活動は素晴らしいものです。

この奉仕活動を個人で行うのではなく、ライオンズクラブのチームワークを発揮して行うことにより効果的に力強く進めていくことができます。

私たちはこのような活動を「アクティビティ」と呼んでいます。このアクティビティこそライオンズクラブの奉仕活動の特色です。

ライオンズクラブは単なる社交クラブでもなく、寄付団体でもなく、また慈善団体でもない、国際協会を構成する1単位で、クラブの会員の力を集結して諸般のアクティビティを実行する国際的な社会奉仕団体です。

その団結力をもって遂行することが、ライオンズクラブのメンバーである私たちの使命なのです。

2. ライオンズクラブはこうしてできた

① 世界最初のクラブができたとき（国際協会創立）

1917（大正6）年アメリカ・シカゴで、あるビジネス・サークルに入っていたメルビン・ジョーンズの「せっかく集まった会員が、ただ食事をしながら商売上、社交上の集まりにとどまっているのではなく、世の中のために有益な団体となりえないだろうか」との願いから各地の指導的立場にある人々による社会団体が結成されました。1917年10月8日～10日に22クラブの代表者36名がダラスに集まって第1回の大会が開催され、ここで「ライオンズ協会」という名称を採用しました。その後、1920年カナダにクラブが誕生したことで「ライオンズクラブ国際協会」という名前を持った組織ができたのです。

現在、国際協会の本部はアメリカ・イリノイ州オークブルックにあり、2020.5.31のデータによると、世界約210カ国に48,402のクラブ、約1,416,367人のメンバーがいます。

日本人で初めてライオンズクラブ国際協会の会長になったのは故L村上薫。2人目になるはずだった故L小川清司は残念ながら第1副会長のときに逝去されたので、2人目は2015年7月、L山田實紘が就任しました。

② 日本最初のライオンズクラブの誕生

日本で最初に結成したライオンズクラブは、マニラ・ライオンズクラブがスポンサーとなってできた、東京ライオンズクラブです。太平洋戦争後の1952（昭和27）年3月のことでした。当時、まだ

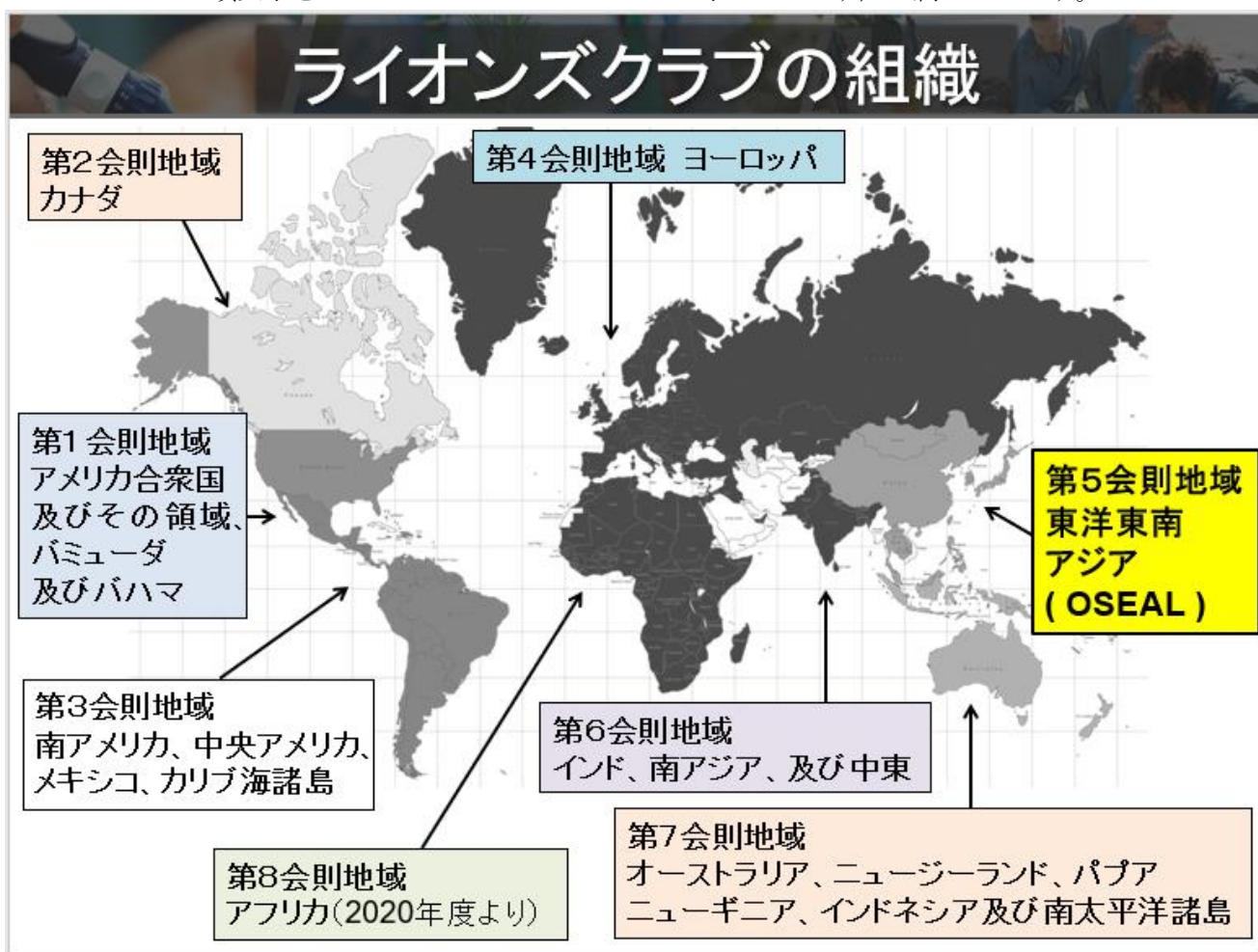
険悪な対日感情を抱いていたフィリピンでしたが、この恩讐を超えて、人類の進歩と平和を願うライオンズ精神は、当時の日本の指導者たちをいたく感激させ、以来、日本はわずかな年月の間に多数の会員を獲得し、現在では世界第3位のライオンズ国となっています。

2020. 3. 31 のデータによりますと、日本全体では、2,948 クラブ、メンバー数は、111,655 名、私たちの 330-A 地区では、196 クラブ、6,251 名のメンバーが参加しています。

3. ライオンズの組織—会則地域、複合地区、330-A、リジョン、ゾーンとは？

① 世界に8つの会則地域

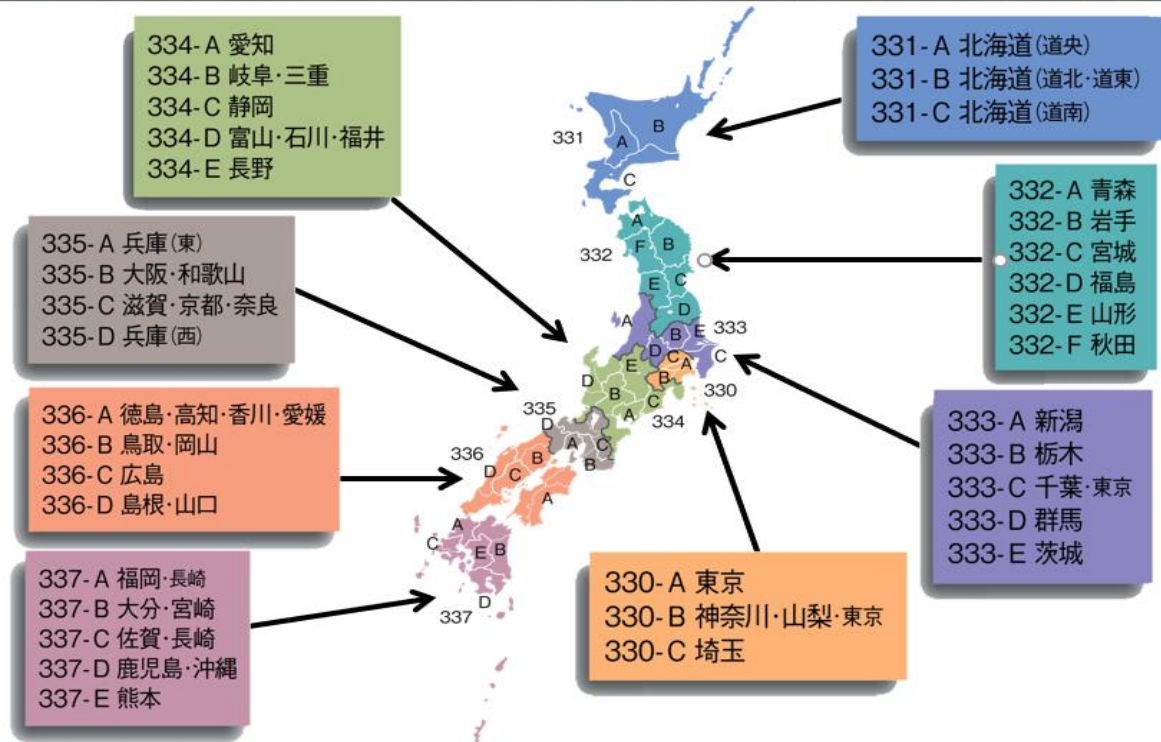
ライオンズクラブ国際協会は、世界の 200 以上の国、または領域を 8 つの会則地域に分けて、それぞれの地域に番号を付けています。日本は第5会則地域・東洋東南アジア（Orient and South East Asia Lions の頭文字をとって OSEAL—オセアルと呼んでいます）に属しています。



② 8つの複合地区

日本の地域に存在する約 3,000 のライオンズクラブは、地域別に 330~337 の 8 つの複合地区に分けられています。各複合地区は複数の(準)地区で構成され、全国に 35 の(準)地区があります。東京は 330 複合地区に存し、330-A を東京、330-B を神奈川・山梨・伊豆大島(三宅島、八丈島を除く) 330-C を埼玉とする 3 つの(準)地区から構成され、各地区にはそれぞれ地区ガバナーが存在します。

ライオンズクラブの組織



③ 330-Aのリジョン

330-A地区(東京・八丈島・小笠原・三宅島)は、14のリジョン(R)で構成されています。各リジョンはおおむね下記のように地域を分けて構成されています。



- 1～3 R（リジョン）（千代田区、中央区、港区、八丈島、小笠原）
- 4 R（墨田区、江東区） 5 R（江戸川区、葛飾区、足立区）
- 6 R（台東区、三宅島） 7 R（荒川区、北区、板橋区、練馬区）
- 8 R（文京区、豊島区、新宿区） 9 R（品川区、目黒区、大田区）
- 10 R（渋谷区、世田谷区） 11 R（新宿区、中野区、杉並区）
- 12 R（武蔵野市、三鷹市、調布市、府中市、稲城市、多摩市、町田市）
- 13 R（西東京市、東久留米市、清瀬市、小金井市、小平市、東村山市、国立市、国分寺市、立川市、東大和市、武蔵村山市）
- 14 R（日野市、八王子市、福生市、羽村市、瑞穂町、あきる野市、青梅市）

各リジョンは、2～3のゾーンから構成されており、それぞれのリジョンには原則として、そのエリアをまとめる1人のリジョン・チェアパーソンが存在します。

④ ゾーン

1つのゾーン（Z）は原則として、4～8のクラブで構成されています。各ゾーンには、各クラブとキャビネットを繋ぐ役割のゾーン・チェアパーソンが存在します。年間5回開催されるガバナー諮問委員会は、ゾーン単位で開催するため、ゾーン・チェアパーソンが運営します。

あなたのクラブが、「☆☆地区 ○○リジョン（R）△△ゾーン（Z）の□□クラブです。」という言い方をしているのは、このようにクラブの存在するエリアを分けているからなのです。

4. ライオンズクラブへの誘い——資格等

① メンバー

ライオンズクラブのメンバーになるためには、善良な徳性の持ち主で、地域社会において声望のある成人であることが大前提です。そして、すでにクラブ会員になっているグッド・スタンディングな人に招請推薦を受け、スポンサーになってもらう必要があります。

② クラブ

同じように1つのクラブを作るのにも20名以上のチャーター・メンバーが揃った上で、スポンサーとなるクラブかキャビネットが必要です。個人の場合と同じように、必要事項が記入されたチャーター申請書とチャーター・メンバー報告書を提出し、地区ガバナーの承認を得る必要があります。それを国際協会が認証したとき、初めて1つの独立したクラブとして存在できるようになります。

③ クラブ支部

事情があり正クラブ結成をサポートできない場合は、その地域にライオニズムを広められるよう、クラブは支部を編成することができます。クラブ支部は、親クラブの付設組織として会合し支部の地域社会において奉仕活動を行います。支部会員は、親クラブの会員として認められます。

5. メンバーの権利と義務

会則に定められているメンバーとしての基本的な権利と義務は次の通りです。

- ① 定期的な例会出席
- ② 速やかな会費納入
- ③ クラブ活動参加
- ④ 地域社会に対してクラブの良い印象を与えるような言動

① 定期的な例会出席

信頼でき理解しあえる仲間が協力しあい社会をよくすること、社会奉仕活動に邁進することが、ライオンズクラブの使命です。クラブの例会や合同例会等にできるだけ参加して、積極的に挨拶を交わし、意見を交換して、仲間の輪を広げるよう心がけてください。

② 速やかな会費納入

ライオンズクラブには、各クラブが定めたクラブ会費を納入する義務があります。この金額の負担は、役職に関係なく原則として同額です。クラブ内では、皆平等の立場だからです。

会費は、アクティビティの活動費や例会費などの運営費として納めるものです。この原資をもとにクラブは、年間で予算を立て、様々なクラブの活動を実行していきます。

使途については、クラブメンバー皆でよく話し合ってお決めください。そして、年度末にクラブ会計から提出される決算報告書にも目を通し、クラブ内金銭の動きや活用に関しても関心と理解をもてる人になる努力をしてください。

③ クラブ活動への参加とクラブ役員

ライオンズクラブの様々な活動には、可能な限り積極的に参加されることをお勧めします。積極的に参加することで、仲間が増え絆が構築され、より豊かなライオンズライフを楽しむことができるようになるはずです。

ライオンズクラブは皆、平等が原則です。役員も1年ずつの任期で当番制になっています。信頼しあえる仲間が持ち回りで役員になります。そのことで、お互いの立場がよく理解でき、支援しあえるようになるのです。そのため、クラブ内では、運営に慣れた執行部候補が次々に育っている状態であればなりません。新入会員にも次々と理事会構成員になって頂き、クラブ運営を経験して頂くことをお願いします。それを先輩が温かく見守って、後輩メンバー達がクラブ運営に馴染んでいく仕組みにしておかなければクラブ運営は活性化しません。

クラブ役員になることは、ライオンズクラブの目的であるアクティビティの1つを遂行することでもあります。各クラブにおいて、アクティビティという目的を達成するために、クラブメンバーの英知とパワーを結集させ、クラブを運営していくことが、クラブ執行部の職務です。会長をはじめとする各役員の導きにより、クラブのより良い活動が行われるようになります。

また、ライオンズクラブは会社での肩書や地位に関係なく、クラブ内でそれぞれの役職についたときには、その職務を誠実に務めなければなりません。役員以外のメンバーは、自分たちの選んだ役員を批判してはいけません。選んだのは自分たちだからです。

④ 地域社会に対してクラブの良い印象を与えるような言動

ライオンズクラブが、その存在を地域社会に認めてもらうためには、クラブを支えている1人ひとりのメンバーが指導力を持って地域社会と接していかなければなりません。指導力とは、諸々な手段、方法によって、相手をより良い方向、より望ましい方向に動かす力です。その力を持った人々がメンバーとして集まったのがライオンズクラブです。

ライオンズクラブが核になって、その地域社会を巻きこんで、より大勢の力でアクティビティを行っていくことが、住みよい社会を作っていくこととなります。そのような言動が、ライオンズクラブをPRすることであり、その働きかけに必要なものの1つが指導力です。

日本は世界のライオンズクラブの中でメンバー数では現在、世界第3位、アクティビティ金額は世界第2位のライオンズ国と言われています。人数や金額だけではなく、社会奉仕活動に対する発言力においても、そうありがたいものです。社会のグローバル化時代到来の声を耳にするようになって久しい昨今、日本国内だけのライオンズクラブでいいはずはありません。私たちも世界の中の一員として、さらに世界に進出し、世界のことを知り、他国のよいところは取り入れて、日本の良さは世界にPRする時代です。インターネットやIT技術を使えば、世界中どこにいてもどんな国とも交流ができ、意見を交換し合い、良い刺激を与え合い、各自が世界のライオンズクラブのリーダーを目指していける状況にあります。

6. クラブの組織

① クラブ役員

1つのクラブは20名以上の正会員で構成されることが望ましいとされています。その中からクラブ役員として、会長、前会長、副会長、幹事、会計、奉仕委員長、マーケティング・コミュニケーション委員長、会員委員長を決めます。

会長、幹事、会計のことをまとめて「クラブ3役」という言葉でも表すことがあります。

これらの役員は、クラブによって考え方が違う場合がありますので、よく確認し、曖昧になっていればクラブで決めておく必要があります。

② GAT(グローバル・アクション・チーム)について

GATとは、以下のGMT、GLT、GST、FWTを指します。

ライオンズクラブ国際協会は100周年を迎えるにあたり、「LCI フォワード」を掲げました。「LCI フォワード」は、世界中のあらゆるニーズがライオンズメンバーによって満たされる日を夢見て、人道的奉仕活動を通じて、2020～2021年度までに年間の奉仕受益者の数をそれまでの3倍、つまり2億人以上に増やすことを目標としています。そのために国際協会は、クラブにも次の3つの委員

会を組織するように求めています。

GMT：会員増強、維持を目指す（グローバル・メンバーシップ・チーム）

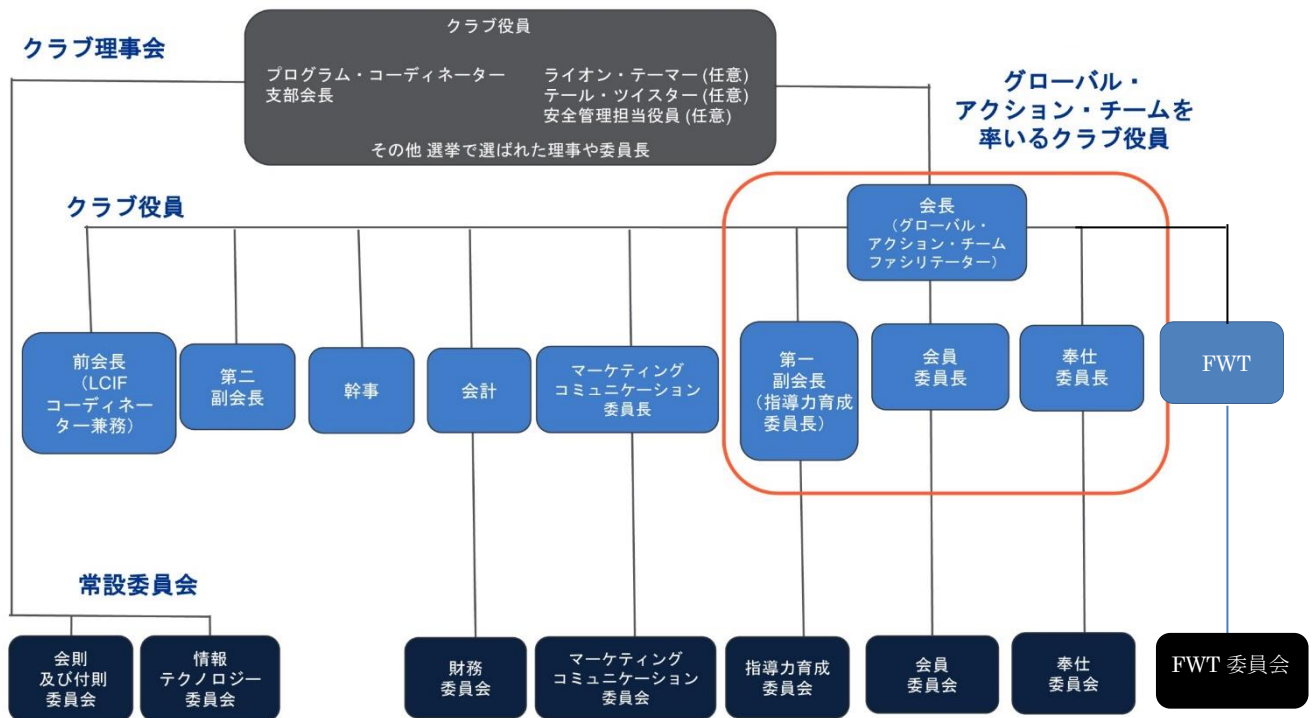
GLT：リーダーの発掘、育成を目指す（グローバル・リーダーシップ・チーム）

GST：地域に根差した新しい奉仕活動を創出していく（グローバル・サービス・チーム）

さらに日本ではこれに加えて下記の FWT（ファミリー・アンド・ウィメンチーム）を追加し4つのチームで GAT が構成され、クラブにも4つの委員会を組織することになりました。

FWT：家族と女性会員の増強、女性リーダーの育成、優れた奉仕活動の発掘と拡大を目指す（ファミリー・アンド・ウィメン・チーム）

標準クラブ組織図



③ クラブ委員会

クラブには、常設委員会と特別委員会があります。常設委員会は、GAT（会員委員会、指導力育成委員会、奉仕委員会、FWT委員会）、会則委員会、財務委員会、マーケティング・コミュニケーション委員会、情報技術テクノロジー委員会などがあります。

特別委員会は、会長が理事会の承認のもとに、設置することができる特別な委員会です。

会長は職権上、すべての委員会の委員となります。

委員会は会長や理事会の諮問に応じて、理事会で決議する前に十分な調査・討議・検討をして答申する役目をもっています。

クラブを活性化するには、委員会活動を活発にすることも重要です。

④ クラブ理事会

理事会は、クラブ役員、ライオン・テーマー（任意）、テール・ツイスター（任意）、クラブLCIFコーディネーター、プログラムコーディネーター、安全管理担当役員（任意）、その他選出された理事、支部会長で構成されます。理事会は、クラブ上程議案を審議する機関です。出席した理事会構成員の過半数の賛成で理事会の決議とみなされます。

⑤ クラブ例会——“あなたのクラブ、あなたのやり方で”

クラブ例会は、理事会に推薦され、クラブで承認された日時と場所で開催されます。楽しく温かい雰囲気の例会に会員候補を招けば、入会を勧めるのは難しくありません。ポジティブで人の心をつかむ例会であれば、参加者は積極的に関与し、コミュニケーションは円滑になり、会員も例会の日を楽しみにするようになります。ではどうすれば、会員や入会候補者にとって、魅力的な例会を作ることができるのでしょうか？ また、クラブの雰囲気を明るくフレンドリーなものにするにはどうしたらよいのでしょうか？

従来の伝統的なスタイルでは、原則として毎月2回食事を伴うフォーマルな会合が主体で、毎回の参加を勧めていました。しかし、2018年からライオンズクラブ国際協会の推奨する例会スタイルは、「あなたのクラブ、あなたのやり方で」と謳っています。例会は変えられるのです。メンバーに最適なクラブ例会の形を自由に選ぶことができます。多くのクラブでは、世代から世代へと受け継がれてきた伝統が重んじられていますが、幸い伝統のほとんどは義務ではありません。例会の敷居を低くするために会議の内容や、頻度、構成などを変更したり、会員同士の連絡やクラブ議事の処理のために新たなテクノロジーを導入したりすることは可能なのです。

つながり重視タイプの例会として、「サイバークラブ」とも呼ばれるタイプがあります。スマートフォンやEメールなど、テクノロジーを駆使して連絡やイベント企画、活動に関する意思決定などを行います。クラブ議事の大部分は 会合時間外に電子コミュニケーションを通じて処理し、直接顔を合わせて集まるのは通常、交流を目的とする集まりか、実地で行われる奉仕活動のときとなります。

混合タイプの例会としては、伝統重視タイプの例会のフォーマルな面と、新しいコミュニケーション手段の効率の良さを併せ持っており、会合の席ではライオンズの伝統や儀礼を尊重しつつ、クラブの議事はEメールやスマートフォンを使って処理することで、意思決定を迅速に行い、実際に集まって行う理事会会議の必要性を極力少なくすることができます。

例会の形式は、IT技術が発達した現在において、メンバーのニーズに合った絶妙のバランスで例会開催の企画をしていくのがカギなのです。

7. “会則”というルール

ルールは所属する組織運営がスムーズに行くように独自で作っているものであり、組織によって異なります。ライオンズクラブにも独自のルールがあります。それぞれの活動は、ライオンズクラブのルールに則り運営することが大事です。現在はほとんどのクラブが「ライオンズ必携」に掲載されている「ライオンズクラブ会則および付則標準版」をクラブ・ルールとしていますが、クラブ独自のローカル・ルールが必要なときは内規として決めるのが一般的です。また、会則や内規は、時代のニーズを反映して多様化し変化していくものですから、最新のことを常に勉強して知識を更新していくように、心掛けてください。「ライオンズ必携」には新しい用語についても詳細な解説が記述されています。

8. 会議はスムーズに——ロバート議事規則

ライオンズクラブでは、あらゆる会議を進行していく際に会議の進め方として、「ロバート議事規則」というものに則って行われています。限られた時間の中で、適切な議論をし、合理的な決議をするために、また少数派の意見でも尊重して聞く姿勢や欠席者の権利も擁護するなどのために、フェアな会議の進め方として古くから活用されています。

① ロバート議事規則に決められている会議の原則—民主主義の原則の実現

- 原則 1. 会議に必要な人数（定足数）を確保する。
- 原則 2. 議案の議決は多数決で決める。
- 原則 3. 少数意見でも尊重する。
- 原則 4. 不在者の権利を擁護する。

② 上記の原則を守るために大事なこと

- ◎定足数に満たない会議は正式会合ではなく、決定しても無効と判断される。そのため事前に出席を促し、定足数を確保する手間をかけることが先決。
- ◎発言したい人は、挙手をして、議長の許可を得てから発言するように。
- ◎発言の内容が、意見か、質問か、動議かをはっきりさせてから発言をする。
- ◎1つの議題の中では、原則として1回の発言は3～5分以内、1人の人の発言は、2回まで。
- ◎出席者が一通り発言するまでは、他の人の発言は認めない。
- ◎1人で同じ意見を2度言わない。
- ◎議長は意見を言わない。
- ◎議長は、賛成意見があったら反対意見がないか、反対意見があったら賛成意見がないか、確認する。
- ◎予め用意された議案以外の動議は、提案者以外にその動議を取り上げることに賛成する者がいることが必要。

議長はいつも毅然とした態度と発言で進行を取り仕切ることです。年輩者や先輩が挙手もせずに勝手に発言するのをそのままにしたり、出席者同士が相談して勝手に決めてしまうのを傍観したり、若い人の言うことだから、よく分からない新人の言うことだから、と発言を無視したりしないようにしたいものです。

平常からお互いの意見や考えをよく交換しあって、議論をしておくことが必要です。会議だけで物事を決めるのではなく、その前に議論をしておくのです。

理事会などで「大事な問題なのに、ルールを優先させて、発言時間を制限し、ろくに討議もさせない」という非難がでるのは、情報公開が進んでいないせいもあります。大事な問題は委員会に諮問して、委員会で十分な討議をしたのち理事会に上程すれば、こうした不満はなくなるはずで、委員会というのはそのためにあるともいえます。

9. 間違いやすいクラブ運営や処理をしていないだろうか？——会員維持の対策

せっかく入会したメンバーが退会していくのは大変残念なことです。クラブライフが楽しければ、誰しも退会することなどは考えないものです。しかし、会社の都合、病気、その他、止むを得ないものは仕方ありませんが、以下のことに注意してください。

① 友を失う行為

「自分の意見を無理やりに押し通す」「自分の利益だけを第一に考える」

「他人の気持ちを考えない」「ルールを無視する」「人をけなす」

「成功は自分の力に、失敗は他人の責任にする」「自分の殻から抜け出さない」

「皆の中に入っていない」「人と協力をしない」

「自分も同じことをしているのに、他人がしていることを非難する」

「物事に責任を持たない」「自分がいつも中心になろうとする」「金銭にだらしない」等々。

こんな人とは友達になりたくない、と考えていくとまだまだ出てきます。また、こういう人がクラブで力を振ると必ず退会する人が出てくるのが普通です。なによりも怖いのは、自分がそうしたことをしていても、自分ではそれに気がついていないことです。

② ときにメンバーの退会を恐れないことも大事

自分の思う通りにならないからといって「私は退会する」という人を止めないのも、その他のメンバーの退会を防止する一つの方法です。その人に譲歩して、言う通りにすれば、そのときは退会を思い止めても、また次に思う通りにならないときがあると、また「私は退会する」といって自分の希望を通してしまうことが多いのです。結局はその人の個人感情でクラブが動かされていることになります。クラブは個人のものではありません。また、ときによっては除名という結果になることも恐れずに退会を認めてあげるべきです。除名をするのはクラブとして不名誉だという意見もありますが、除名もできないようなクラブの方が社会的信用は落ちます。クラブとしての誇りを持ちたいものです。

③ 自クラブ優先

例会やアクティビティ等、ライオンズクラブの活動は、まず、自分の所属クラブのもの優先で出席するように心がけてください。自分の所属するクラブ（自クラブ）例会や活動に出席すれば、ドネーションも、労力アクティビティも自分のクラブにできるからです。

クラブの活動の方向性を知るためにも、まず自クラブの例会や活動を優先して活躍してください。その一方で、他クラブの例会に訪問して、例会形式を参考にしたり、交流の輪を広げたりしながら、自クラブの活性化を図ることも大事なことです。

④ 奉仕団体と慈善団体とは違う

年度始めになると、いろいろな団体から寄付の要請があるかもしれません。「金をくれ！」というからあげるのは慈善であって、なんとか自立しようと自力で必死に努力している人たちを探して、要請がなくても、こちらから一緒になって手伝うのが奉仕の姿です。ライオンズクラブは寄付団体でもなく、慈善団体でもなく、アクティビティを実行する奉仕団体です。

⑤ チャリティ行事

例えばチャリティ・ゴルフ大会、チャリティ・バザーなどを行いません。主催がライオンズクラブであるし、参加者を勧誘しやすいからと他クラブに協力を求めるのではなく、できるだけ広く地域社会に働きかけ、参加を呼びかけてください。ライオンズクラブが実施するアクティビティの目的を理解し、ライオンズクラブの地域社会に対する存在をアピールするよう心がけてください。

なお、アクティビティ資金を他クラブの会員に求めることは、一般道徳からいっても礼を失したことになります。

複合地区会則 第3章 改正その他 第29条 文書配布の規制には、次の様に記述してあります。「クラブおよびクラブ会員は、他のクラブおよびクラブ会員に対し、資金、物品、援助を求める文書並びにライオンズ道徳綱領に反する文書を配布してはならない。」

（文書には、郵便のほか電子メール、ファックス、ソーシャルネットワークなどのすべての電子的手段による送信手段を含む）。

⑥ 資金集めは支援先を決めてから

チャリティ等で資金を集めてから、アクティビティ先を探すのではなく、どうしても実施したい支援があって、これに必要な資金はいくらあればよいのかを考え、そして必要な資金を集めるのがライオンズクラブとしてのチャリティのあり方ではないでしょうか。

また、アクティビティ先に対する奉仕活動は「昨年同様に」との安易に決めるのではなく、よく調査・検討したいものです。物価の上下、アクティビティ先の状況の変化などによって、必要とする金額等が変わる場合もあります。

継続アクティビティは、どこまで達成されたら自立をして頂くかという目的を設定するのも方法です。ある特定の団体だけを支援するサポーターも必要ですが新しい支援先はいくらでもあるので

はないでしょうか。自立のきっかけをつくる支援をして、自立したらまた新しいアクティビティ先を、光の当たらない世の隅から探してくるのがライオンズクラブのアクティビティのあり方です。

10. Web 会議のすすめ

① Web 会議の活用をお勧めします

2020 年になり、Web 会議システムを利用した委員会やセミナー等の運営が次第に定着しました。現在の Web 会議システムは、従来の Skype や LINE を利用した「映像電話」を超えた、100 名規模での交信が可能な「オンライン会議室」システムになっています。

Web 会議の環境として、インターネットに接続されたカメラ、マイク、スピーカー内蔵、あるいは外付けされた PC (パソコン) やタブレット、又はスマートフォンがあれば、簡単に参加できます。

その操作方法はきわめてシンプルです。文字入力やキーボードを叩く動作は不要なので、キー操作に慣れてない方でもすぐに参加できるようになります。

会議主催者から送られてきた URL をクリックするだけです。

このマニュアルでは、Web 会議の活用例として「Zoom」による Web 会議の参加方法を解説します。「Zoom」は PC でもスマートフォンやタブレットでも参加できますが、最初だけ参加方法が異なりますので、PC 編とスマートフォン、タブレット編の両方を記述しました。参考にされてご活用ください。

② Zoom オンライン参加方法

◎PC での参加方法

招待 URL が会議主催者からあなたの PC (メールアドレス) に送付されてきます。

★URL <https://zoom.us/j/xxxxxxxxxxxxxx>

↑この URL をクリックしてミーティングの開始をお待ちください。

これだけで Zoom 会議に参加できます。

★ミーティング ID : xxxxxxxxxxxx パスワード: xxxxxxxxxxxx も URL と同時にメールアドレスに送信されます。

★初めて Zoom 会議に参加する場合は、下記の手順になります。

- 1) 初めて Zoom 会議に参加される場合でも、上記の招待 URL をクリックします。すると、Zoom ソフトウェア (無料) が自動的にダウンロードされます。
- 2) ダウンロードされたファイルをクリックすると自動的に Zoom のソフトウェアがインストールされます。
- 3) インストールが終了すると、自動的にミーティングに接続します。
- 4) 「コンピューターでオーディオに参加」をクリックすると参加できます。

◎スマートフォン、タブレットでの参加方法

★スマートフォン、タブレットで初めて Zoom 会議に参加する場合は、事前に Zoom のソフトウェア（無料）をダウンロードしてインストールしてください。

ダウンロードのための QR コードはこちら↓を読み込んでください。

◎android の場合



◎iPhone や iPad の場合



招待 URL が会議主催者からあなたのスマートフォン・タブレット（メールアドレス）に送付されてきます。

★URL <https://zoom.us/j/xxxxxxxxxxxxxxxx>

↑この URL をクリックしてするか、QR コードを読み込ませると Zoom のソフトウェアが起動します。

★ミーティング ID : xxxxxxxxxxxx パスワード: xxxxxxxxxxxx を入力して会議開始をお待ちください。

★Zoom への詳しい参加方法は、こちらをご覧ください。

<https://zoomy.info/manuals/sanka/>

★330-Aのホームページにアップされている下記表示をクリックすると「広報・IT・クラブサクセス委員会」のYouTube(動画)から Zoom 会議の様子を見ることができます。こちらにも参考にしてください。



11. 用語解説

日々のライオンズの活動の中で使われている言葉は、英語の表現をそのまま使っているものやライオンズ独特のものが多くあります。それらを初めて耳にすると、戸惑いがあるかもしれません。ここでは、その中から比較的によく使われているものをピックアップして簡単に解説してみました。詳細は「ライオンズ必携」の「用語解説」や辞書を参照してください。

アクティビティ (Service Activity)

ライオンズクラブが行う社会奉仕活動全般のことをいう。主に経済的支援をする金銭アクティビティと、メンバーの労働奉仕活動による労力アクティビティがある。

アワード (Award) (賞)

国際会長または(準)地区ガバナーなどから、個人またはクラブに与えられる各種の賞のこと。会員キー賞、エクステンション賞、各種功労賞などがある。

Eブック (E Book)

書籍や出版物の情報をデジタル化し、Web上で閲覧可能なコンテンツにした電子書籍のこと。ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトには、各クラブ役員用のウェブページにEブックが用意されている。

エクステンション (Extension)

新しいクラブを作ること。

エフ・ダブル・ティー FWT (Family and Women Team)

2015年1月、「家族と女性会員の増強」「女性リーダーの育成」「優れた奉仕活動の発掘と拡大」を目指し組織されたチーム。日本独特の組織。

エル・シー・アイ LCI (Lions Clubs International)

ライオンズクラブ国際協会のこと。

エル・シー・アイ・エフ (Lions Clubs International Foundation)

1968年に国際協会によって設立された財団のこと。(ライオンズクラブ国際財団)
LCIF理事会の構成は理事22名、執行委員8名。寄贈を受けた基金を運用して、大災害緊急事態の救済その他全世界的に人類の福祉に貢献することを目的とする。

エル・シー・アイ フォワード (Lions Clubs International Forward)

2015-2016年度から2019-2020年度の5ヵ年戦略計画のことで、ライオンズクラブ国際協会がさらなる発展を目指す指針。人道的支援をして2020-2021までには1年間に約2億人の人々の生活改善をする目標を掲げた。

オセアルフォーラム (Orient and Southeast Asian Lions Forum)

東洋東南アジア・フォーラムの項を参照(21頁)

親クラブ・子クラブ (Parent Club)

新しいクラブを作った(エクステンションした)クラブ。スポンサー・クラブともいう。作られたクラブが子クラブ。

会員の種別 (Categories of Membership)

会員の種類には正 (Active)、不在 (Member-at-large)、名誉 (Honorary)、優待 (Privileged)、終身 (Life)、準 (Associate) および賛助 (Affiliate) 家族 (Family) の7種類がある。それぞれ会員別に権利と義務が異なる。

会員委員長 (Membership Chairperson)

会員委員会の委員長。クラブ内グローバル・アクション・チームの主要メンバーでクラブ理事会構成員となり、会員増強計画立案や会員の満足度を高め、クラブ向上プロセス・ワークショップを企画する。

会則地域 (Constitutional Area)

国際会則で定められた、世界を8つの会則地域に分けた地域のこと。

地域ごとに国際理事の定員を定め、アメリカ及びその周辺、カナダ、メキシコ・中南米・カリブ諸島、ヨーロッパ、インド・南アジア・アフリカ・中東、東洋・東南アジア、大洋州及びその周辺の8つに分けられ、日本は第5会則地域(東洋東南アジア: OSEAL)に所属している。

会則及び付則 (Constitution and By-Laws)

ライオンズクラブ国際協会会則及び付則、複合地区会則及び付則、クラブ会則及び付則、レオクラブ会則及び付則等のこと。国際協会会則および付則はライオンズの最高規定であり、クラブはクラブ会則および付則標準版を採用するよう勧められている。

ガイディング・ライオン (Guiding Lion)

既存のクラブまたは指定されたクラブ、あるいは新結成クラブに対して必要な助言を行い、その情報を地区や国際本部に報告する任にあたる会員。ガイディング・ライオンになるには、公認ガイディング・ライオンの資格(公認ガイディング・ライオンの研修を受けてあ

るいは国際協会ウェブサイトからの資料で受講して、申請後、国際会長から認証状を授与された者)を取得する必要がある。

家族及び女性チーム (Family and Women Team)

FWT の項を参照(15 頁)

家族会員プログラム (Family Membership Program)

2007 年 1 月 1 日より適用されている国際会費割引制度。1 人目の家族会員(世帯主)は半期分国際会費を全額支払い、2 人目から 5 人目までの家族会員は半期分国際会費の半額を支払う。

ガバナー (District Governor)

正式には地区ガバナーといい、国際協会の役員である。地区年次大会において選出され、地区においてライオンズクラブ国際協会を代表し、さらに、地区運営の責任者としてキャビネット構成員を指導する。

ガバナーエレクト (District Governor-Elect)

地区ガバナーは地区の年次大会で選出されて、その年度の国際年次大会閉会と同時に正式に就任するのであるが、選出されてから就任するまでの間ガバナーエレクトと呼ばれる。

キー賞 (Key Award)、キー・メンバー (Key Member)

2 名以上の新会員をスポンサーにした会員に国際協会から贈られる賞。会員 2 名から 500 名までの 17 種類の新しいデザインの賞がスポンサーした会員に贈られている。スポンサーした会員が 1 年と 1 日以上在籍しなければ、アワードの対象にならない。

キー賞を受けた会員のことをキー・メンバーという。

キャビネット、(準)地区キャビネット (Cabinet)

地区ガバナー・キャビネットを略した文言。地区ガバナー、前地区ガバナー、第 1 及び第 2 副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区委員長などをもって構成され、運営管理するために作った役員のこと。

クラブ内ファシリテーター (Facilitator) クラブ内 G A T (Global Action Team)

クラブにおけるグローバル・アクション・チーム (GAT) のファシリテーター(クラブ会長が務める)のこと。また各クラブ内に組織する GLT、GMT、GST、FWT をクラブ内 G A T という。

グッド・スタンディング (Good Standing)

会則、付則の各条項を遵守し、会費の未納のないこと。

クラブ活性化計画 CQI (Club Quality Initiative)

2017年全面的に改正されたクラブ向上プロセス (CEP) の改訂版である「クラブ活性化計画」のこと。ライオンズクラブ国際協会が推進する LCI フォワードを理解し、変革の必要性、目標設定、計画の策定、変革の実現と維持を図る。

クラブ支部プログラム (Club Branch Program)

クラブ支部は、親クラブの1つの付設組織として活動を開設し、独自に例会を開いて奉仕活動が始められるようになった。クラブ支部プログラムは、その仕組みのこと。支部を結成するためには5名以上のメンバーが必要。

グローバル・アクション・チーム GAT (Global Action Team)

2017年7月に開催され、グローバル指導力育成チーム (GLT)、グローバル会員増強チーム (GMT) に新たにグローバル奉仕チーム (GST) を加えて、3つの重要な分野を統合した。日本の場合はFWTを含めた4つのチームになる。国際協会レベル、会則地域レベル、複合地区レベル、(準)地区レベル、クラブレベルまで、GATが組織されており、高度な相互依存関係で取り組むチーム。

グローバル会員増強チーム GMT (Global Membership Team)

GATのひとつでグローバル指導力育成チームと協力しながら、クラブの利益と成功のために継続的かつ集中的な会員増強活動を統合する国際的な仕組みを提供するチーム。

グローバル指導力育成チーム GLT (Global Leadership Team)

GATのひとつで協会の未来の活力を大きく左右するメンバーの指導力育成に積極的な研修とリーダーシップ育成プログラムを提供し、必要な情報、指導、意欲喚起を啓発し、優れたリーダーの発掘と育成に取り組むチーム。

グローバル奉仕チーム GST (Global Service Team)

GATのひとつで、ライオンズクラブ国際協会と LCIF の奉仕の枠組みを支持し、世界中のライオンズとレオが最大限のインパクトをもたらす奉仕や活動を行いクラブの発展とともに地域社会に貢献できるように策定するチーム。

国際大会 (international Convention)

ライオンズクラブ国際協会の年次大会。国際協会の会長・副会長・国際理事の選挙や国際会則等の改訂等の承認も行われる。

サーバント・リーダーシップ (Servant leadership)

「まず相手に奉仕し、その後相手を導く」という考えの下に生まれた「支援型リーダーシップ」のこと。「支配型リーダーシップ」の対義語。

賛助会員 (Affiliate Member)

クラブの正会員として全面的に活動できないが、クラブとその奉仕活動を支持し、クラブを賛助したい地域社会の優れた人物のこと。

シー・キュー・アイ CQI (Club Quality Initiative)

クラブ活性化計画の項を参照(18 頁)

ジィ・エイ・ティ GAT (Global Action Team)

グローバル・アクション・チームの項を参照(18 頁)

ジィ・エム・ティ GMT (Global Membership Team)

グローバル・メンバーシップ・チームの項を参照(18 頁)

ジィ・エル・ティ GLT (Global Leadership Team)

グローバル・リーダーシップ・チームの項を参照(18 頁)

ジィ・エス・ティ GST (Global Service Team)

グローバル・サービス・チームの項を参照(18 頁)

終身会員 (Life Member)

通算 20 年以上正会員であり、所属クラブ、その他地域社会もしくは国際協会に対してその功績の著しい者、または重病人、あるいは 15 年以上正会員であり、少なくとも 70 歳に達している者で、今後の国際会費全額に代わる 650 ドル納入等所定の手続きを経た会員。

準会員 (Associate Member)

既存のライオンズクラブの正会員となっているものの、他クラブとその奉仕活動に賛同してこれを支援する会員。

準地区・地区 (Sub District・Single District)

複合地区の一部分を形成する地区のこと。準地区は地区ガバナーを選出し、特に区別を要しない場合は、単に「地区」と呼称すればよい。

スポンサー スポンサー・クラブ (Sponsor, Sponsor club)

新会員をクラブに推薦した会員のこと。

また、スポンサー・クラブとは新クラブの結成を主力となって推進するクラブのこと。更に青少年交換（YCE）においては、青少年を送り出す側など、ある事業について特別の面倒をみるクラブもスポンサー・クラブと呼ばれる。

スマート S.M.A.R.T (Specific. Measurable. Actionable. Realistic. Time bound)

目標を達成する為、「S：具体的 (Specific)」「M：測定可能 (Measurable)」「A：実行可能 (Actionable)」「R：現実的 (Realistic)」「T：期限付き (Time bound)」の5つの成功因子の頭文字を並べ、「S.M.A.R.T」と名付けられた用語のこと。

S.M.A.R.Tを用いて目標を設定することによって、行動に移しやすく、モチベーションを維持しやすくなる。

ゾーン・チェアパーソン ZC (Zone Chairperson)

地区ガバナーおよび（または）リジョン・チェアパーソンの指導監督を受け、ゾーンの運営責任者としてゾーン内クラブとキャビネットとをつなぐ者。地区ガバナー諮問委員会の委員長として同委員会定例会議を開催し議長を務める。

代議員 (Delegate)

クラブの会員の中から選ばれ、国際大会、複合地区大会、地区大会などに出席して議案について表決する者のこと。

地域社会 (Local Community) テリトリー (Territory)

所属クラブがアクティビティを行う地域の範囲として国際協会に届け出ている定められた地域。

地区役員 (District Officer)

地区ガバナーから任命されたクラブ会員を総称して言う。キャビネット構成員。キャビネット構成員は、ガバナー、副地区ガバナー、キャビネット幹事・会計、RC、ZC、（準）地区委員会の委員長などである。

チェアパーソン (Chairperson)

議長のこと。ゾーンの議長がゾーン・チェアパーソン。

チャーター (Charter), チャーター・メンバー (Charter Member), チャーター・ナイト (Charter Night)

認証状のこと。結成式を行って新しくライオンズクラブが作られたとき、結成に参加したメンバーを国際協会に届け、同協会からクラブ結成認証状（チャーター）が授与される。

認証状に名前が記載されているクラブ結成の際の創立会員のことをチャーター・メンバー (Charter Member) と呼び、結成の認証状を受け取る認証状伝達式をチャーター・ナイト (Charter Night) と呼ぶ。

チャリティ (Charity)

慈愛・慈善・博愛または同胞愛の精神に基づいて行われる公益的な行為・活動のこと。アクティビティとは違う。

テール・ツイスター (Tail Twister)

例会やその他会合で種々のアイデアによって会合を盛り上げ、会員間の親睦を図るのがその任務である。

東洋東南アジア・フォーラム (Orient and Southeast Asian Lions Forum)

親善を深めることを主目的としてこの地域内のライオンズ国（日本、台湾、フィリピン、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、韓国、タイ、グアム、パラオ、ミクロネシア、サイパン、モンゴル、カンボジア、中国（香港・マカオ含む）、ラオス）のクラブ代表が参加し開催される会議。この地域に共通の問題を話し合っている。東洋東南アジア・フォーラムはOSEALフォーラムと略称される。

登録料 (Registration Fee)

ライオンズの各種催しの際の参加料のこと。

ドネーション (Donation)

寄付する行為。または寄付金のこと。

日本ライオンズ (Japan Lions)

各複合地区共有・共同の事務所として、日本国内の各複合地区に共通する事務の処理を行っている組織のこと。2016年7月、一般社団法人日本ライオンズ設立。

年次大会 (Annual Convention)

国際大会、複合地区大会、地区大会のこと。地区の年次大会では、地区ガバナー、第1、第2副地区ガバナーを選出し、地区に関する決議を行う。

バナー (Banner)

卓上などに飾られるクラブで独自にデザインした縦長の小旗。テーブル・バナーともいう。クラブデザインのバッジ（ピンともいう）とともにゲストに対する記念品などに使われる。式典壇上に飾られるクラブ旗（連帯旗などと愛称される）ではない。

ファイン (Fine)

罰金のこと。例会でテール・ツイスターだけがメンバーに対して罰金を科す権限を持っている。

ファシリテーター (Facilitator)

一般的に進行役/促進者を意味する言葉である。ファシリテーターは参加者が自発的にテーマに沿って考え行動し、最終的な結論が得られるよう支援する。会議においては中立的な立場を維持する。

フォーラム (Forum)

ライオンズとレオが一堂に会し、自由に討論できる場で、その決議が会員やクラブを拘束しない会合を、大会と区別してこのように呼ぶ。経験や奉仕のストーリーを共有したり、ライオンズクラブ国際協会の研修を受けたり、主な目標を知ることができたりする場でもある。

複合地区 (Multi District)

複数の（準）地区の複合体。1国または1地域が多数の（準）地区に分割されているとき、これらを総合して複合地区を作る。日本のライオンズは330・331・332・333・334・335・336および337の8つの複合地区に分割され、それぞれのガバナー協議会のもとに複合地区が運営されている。しかし、会則、YCE活動、国際大会参加など共通の問題は8複合地区の協議によって処理されている。

複合地区ガバナー協議会 (District Governors Council)

複合地区内全ての地区ガバナー及び追加構成員によって設けられる機関のこと。議長は前・現、元地区ガバナーが務め、副議長、幹事、会計の各1人を互選する。年3回の定例会議を開催。複合地区の運営管理、役員を選任などを行う。

副地区ガバナー (Vice District Governor)

国際付則第9条第6項（b）（c）によって設置される役職で、第1、第2副地区ガバナーを指す。その任務は、地区ガバナーの補佐をし、地区において協力し効果的にリーダーシップを発揮し運営にあたる。

ガバナー、副地区ガバナーを、ガバナーチームという。

プロトコール (Protocol)

地区役員や来賓の席順のことをいう。

マイ・エルシーアイ (My LCI)

会員報告サイト。国際協会が2013年開設したWebサイト。クラブはこのサイトを使って会員データの閲覧、会員名簿、会員カードなどの印刷、アクティビティ報告、会計計算書の確認等を行うこともができる。

マイ・ライオン (My Lion)

ライオンズ会員の情報交換を目的とした交流サイト。登録したライオンズ会員であれば、クラブや会員が行っている奉仕活動を自由に書き込み、閲覧できる。

メルビン・ジョーンズ・フェロー (Melvin Jones Fellowship)

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) への 1,000 ドル献金した会員。この献金者を表彰し、MJF の称号とともに記念の盾やラペル・ピンが贈られる。2 回目以降をプロGRESS・メルビン・ジョーンズ・フェロー (PMJF) と呼び、54 の表彰レベルがある。10 万ドルの献金者は「人道支援パートナー」となる。

メイク・アップ (Make Up)

自クラブの例会出席扱いになる例。自クラブ例会に出席できない場合、2 週間以内であれば、他クラブ例会に代替出席できる。それを例会出席とカウントすることができる。

メンター (Mentor)

ギリシャ語の「導く人」を語源とし、新入会員がクラブに馴染み、奉仕事業に参画できるよう段階別に指導、支援する者。ライオンズクラブ国際協会はライオンズ・メンター・プログラムを開発し、新入会員がクラブに馴染み、奉仕事業に参画できるよう段階別に指導できるよう支援している。

ライオニズム (Lionism)

最も崇高な人道的奉仕の理想に専念するライオンズという共同体の連帯の意識を指す。国籍、主義の異なった、また国境や海や迷信などで引き離された人々をつなぎ合わせて、よりよい世界へ導こうとする信念である。

ライオンズ必携 (Lions manual)

ライオンズクラブの目的、道徳綱領、スローガンを始め、国際協会の沿革と組織、更に各種会則の他、ライオンズクラブに関するさまざまな情報を網羅した手帳サイズの冊子のこと。1963 年初版、日本ライオンズ連絡事務所発行。現在 (2020 年 8 月) の最新版は 2018-2019 発行、第 58 版。2020 年秋、最新版発行予定。

ライオンズ・クエスト・プログラム (Lions Quest Program)

クエストという教育研究機関が開発し、ライオンズクラブが世界中で普及活動をしているライフスキル教育に関するプログラム。

ライオンズデー (Lions Day)

1917 年に開催されたライオンズ国際協会の第 1 回の大会を記念して設けられた記念日 (10 月 8 日)。

ライオンズデーの設置は 1962 年の日本の各地区年次大会および 1965 年の東洋東南アジア大会でその実施が決議された。

ライオンという呼び方

もともとはアメリカで MR. の代わりに L. として使われたようであるが、英語では人名前につけるだけですむが、日本では「～さん」という敬称の代わりに「〇〇ライオン」と人名のあとにつけることが行われている。「～ライオン」と呼べば年齢の上下、社会的地位や職業に関係なく全員が平等であるというライオニズムにふさわしい呼び方である。

ライオン・テマー (Lion Tamer)

クラブ諸備品の整備、保管、会場設営などの職責がある。2002 年クラブ会則改正により、設置は任意となっている。

ライオンズ・ローア (Lions Roar)

ローアとは「おたけび」のこと。「ウオーッ」と吠えながら手を上へ突き上げて、万歳の代わりとすること。

ラペル・ピン (Lapel-Pin)

襟元のボタンホールに挿すアクセサリーのこと。

ランチョン・バッジ (Luncheon badge)

例会等の集まり事またはイベント時に使用する名札。

理事 (Director)

国際理事とは、全世界から選出された理事のことである。**クラブ理事**とは、クラブ役員 (Officer) のことを言う。クラブ理事は、役員とともにクラブ理事会を構成し、クラブ会則第 8 条 3 項の任務を遂行する。

リジョン (Region) (リジョン・チェアパーソン RC)

2～3 のゾーンが集まって一つのリジョンを作っている。10～16 クラブで一つのリジョンを構成している。リジョン・チェアパーソンがその運営に当たる。

リテンション (Retention)

会員の脱落を防止し、会員数を維持すること。新会員の獲得も重要なことであるが、現在の会員のクラブに対する興味と関心を高め、脱落の防止に務めることは極めて重要なことである。

レオクラブ (Leo Club)

青少年育成プログラムであり、地域社会の青少年に指導力、経験 および機会を与え、個性豊かな人間に成長させるための奉仕活動を促進し、会員の間、友情親善及び相互理解の精神を育成することを目的としている団体である。

ロバート議事規則 (Robert' s Rules of Order)

アメリカ合衆国陸軍の少佐であった Henry Martyn Robert (1837--1923) がアメリカ議会の議事規則を元に、普通一般の会議でも用いることができるよう簡略化して考案した議事進行規則。この規則の基本とするところは、多数系、少数派の尊重、不在者の擁護などを目的としている。

ワイ・シー・イー YCE 青少年交換 (Youth Camp Exchange)

世界の 16 歳～21 歳までの青少年を対象に国際間で行われる交換プログラムのこと。キャンププログラムを取り入れる前は「YE」と言われていた。

メンバーズ・マニュアル 改訂版

発行

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区

2020-2021

地区ガバナー	進藤義夫(東京世田谷 LC)
キャビネット幹事	L 江端貴子(東京数寄屋橋 LC)
キャビネット会計	L 伊藤 勝(東京田無 LC)

作成

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区

2020-2021 GLT 指導力育成・CQI 委員会

委員長	L 佐久間洋一(東京駿河台 LC)
副委員長	L 肥田野晴三(東京平成 LC)
副委員長	L 北岡知子(東京渋谷 LC)
副委員長	L 川名善正(東京キング LC)
副委員長	L 一瀬晴雄(東京田無 LC)
委員	L 海沼潤(東京柳橋 LC)
委員	L 山崎紀子(東京柳橋 LC)
委員	L 田中亜紀子(東京駿河台 LC)
委員	L 梅本泰寛(東京豊島 LC)
委員	L 鈴木昭雄(東京さぎそう LC)
委員	L 常盤 聡(東京八王子いちょう LC)
GLT コーディネーター	L 戸部研一(東京数寄屋橋 LC)
担当副幹事	L 増淵秀一(東京白門 LC)

発行日

1997年 6月 初版

2020年 10月 改訂版

発行所

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区 キャビネット事務局

〒169-0074 東京都新宿区北新 1-36-6